







人と人をつなぐ。それはやがて、景色になる。

株式会社富士ピー・エス

# 2027年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

2026年11月10日

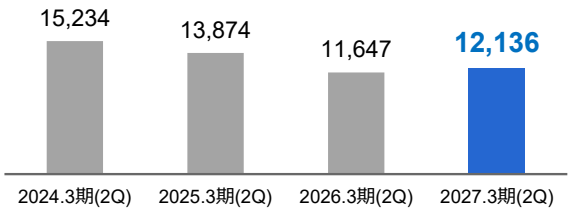
# 2027年3月期 第2四半期（中間期）　連結業績の概要（前期比較）

受注は大型工事の獲得により増加、売上高は微減となったが、営業利益は採算性の向上により2期連続の増益

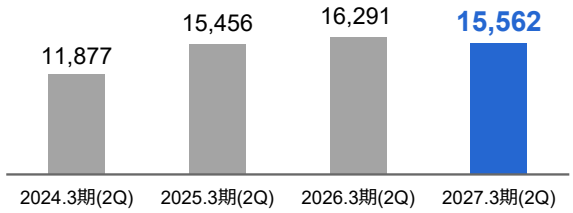
（百万円）

| 連結 | 2026/3期 第2四半期 | 2027/3期 第2四半期 | 前期比 増減額 | 前期比 増減率 | コメント |
|---|---|---|---|---|---|
| **受注高** | 11,647 | **12,136** | 488 | 4.2% | 建築事業は、前期の好調な受注により反動減となったが、土木事業において高速道路会社等からの大型工事の受注を獲得したことにより増加 |
| **売上高** | 16,291 | **15,562** | △728 | △4.5% | 手持工事が概ね順調に進捗したものの、土木事業の一部工事における進捗遅延の影響により減収 |
| **売上総利益**（売上総利益率） | 2,587 (15.9%) | **2,705** (17.4%) | 117 | 4.5% | 工事採算性の改善により利益率が向上したことにより増益 |
| **営業利益**（営業利益率） | 907 (5.6%) | **951** (6.1%) | 44 | 4.9% | 売上総利益の増加により2期連続の増益 |
| **経常利益** | 858 | **871** | 13 | 1.6% | 同上 |
| **親会社株主に帰属する中間純利益** | 558 | **573** | 15 | 2.7% | 同上 |

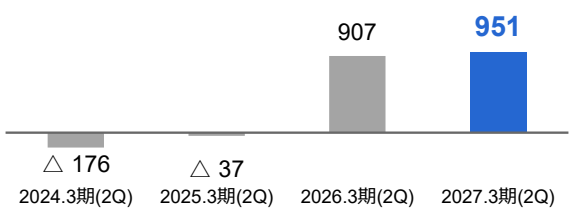
**受注高の推移**（百万円）




**売上高の推移**（百万円）



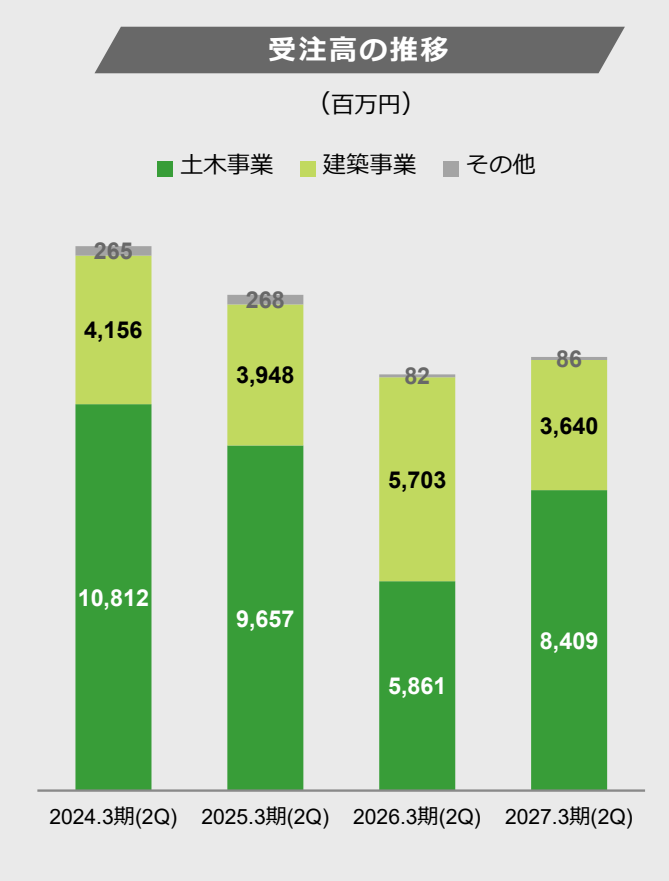

**営業利益の推移**（百万円）

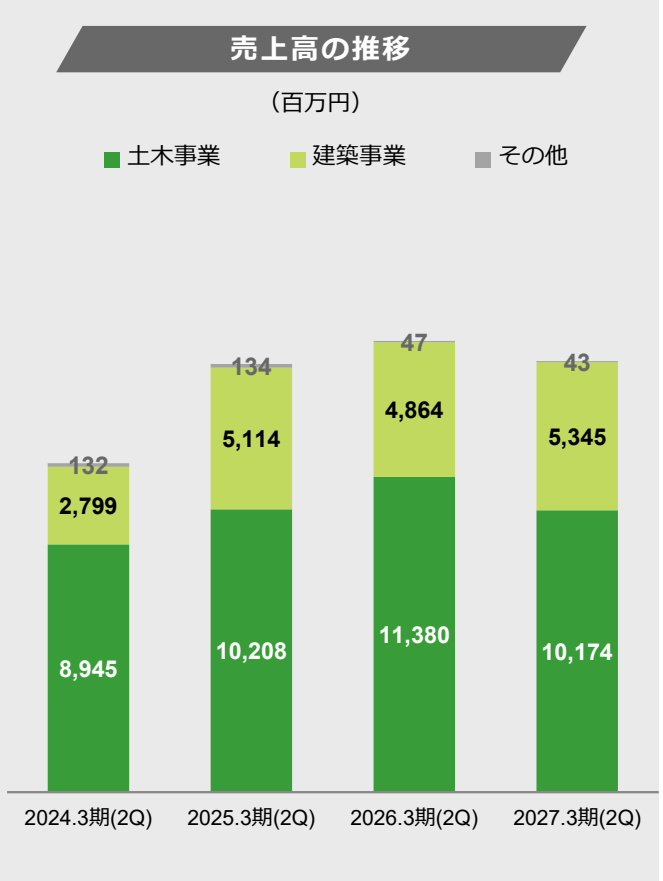


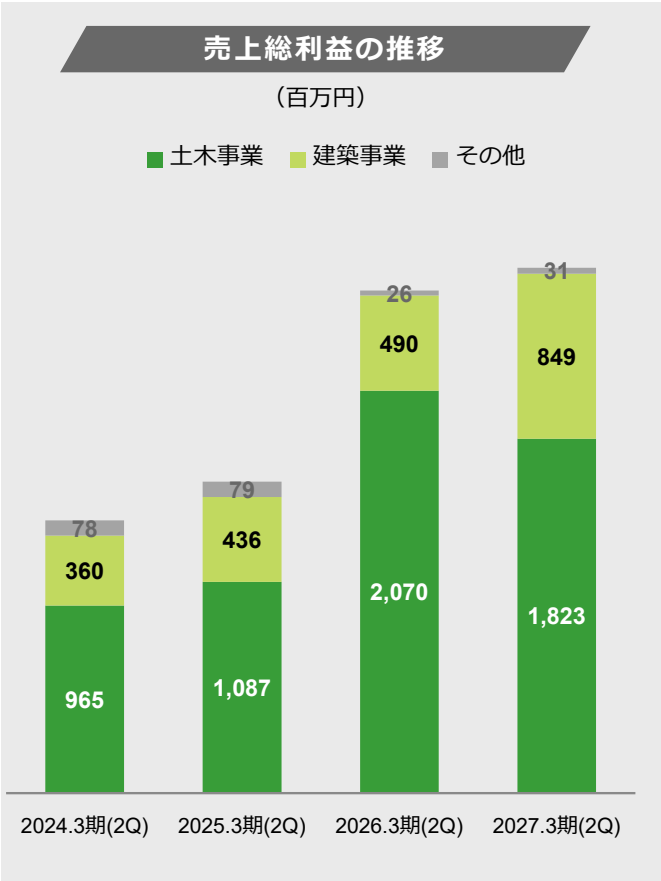

© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.

# 2027年3月期　第2四半期（中間期）　セグメント別業績サマリー

受注高は、建築で前期の好調な受注の反動により減少したが、土木で大型工事の受注獲得により増加
売上高は、土木で一部大型工事の進捗遅れにより減収となったが、建築で手持工事が順調に推移したことにより増収
売上総利益は、土木・建築ともに継続して工事採算性の改善施策に取り組んでおり、その効果により増益




© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.

# セグメント別業績

## 土木事業

大型工事の受注が順調で大幅に増加、売上高・利益は一部大型工事の進捗遅延の影響により減収・減益

（百万円）

| 連結 | 2026/3期 第2四半期 | 2027/3期 第2四半期 | 前期比 増減額 | 前期比 増減率 | コメント |
|---|---|---|---|---|---|
| **受注高** | 5,861 | **8,409** | 2,547 | 43.5% | 大型工事が順調に受注できたことにより大幅に増加 |
| **売上高** | 11,380 | **10,174** | △1,206 | △10.6% | 現場施工、製品製作も概ね順調に進捗したが、一部ＪＶ構成員で参画している大型工事に進捗遅れが発生した影響により減収 |
| **売上総利益**<br>（売上総利益率） | 2,070<br>(18.2%) | **1,823**<br>(17.9%) | △246 | △11.9% | 継続して工事採算性の改善施策に取り組んでおり、利益率は改善傾向にあるが、売上高減少の影響により減益 |

## 建築事業

受注は前期に比べ反動減、売上高は手持工事の順調な進捗により増収、利益は採算性の改善により増益

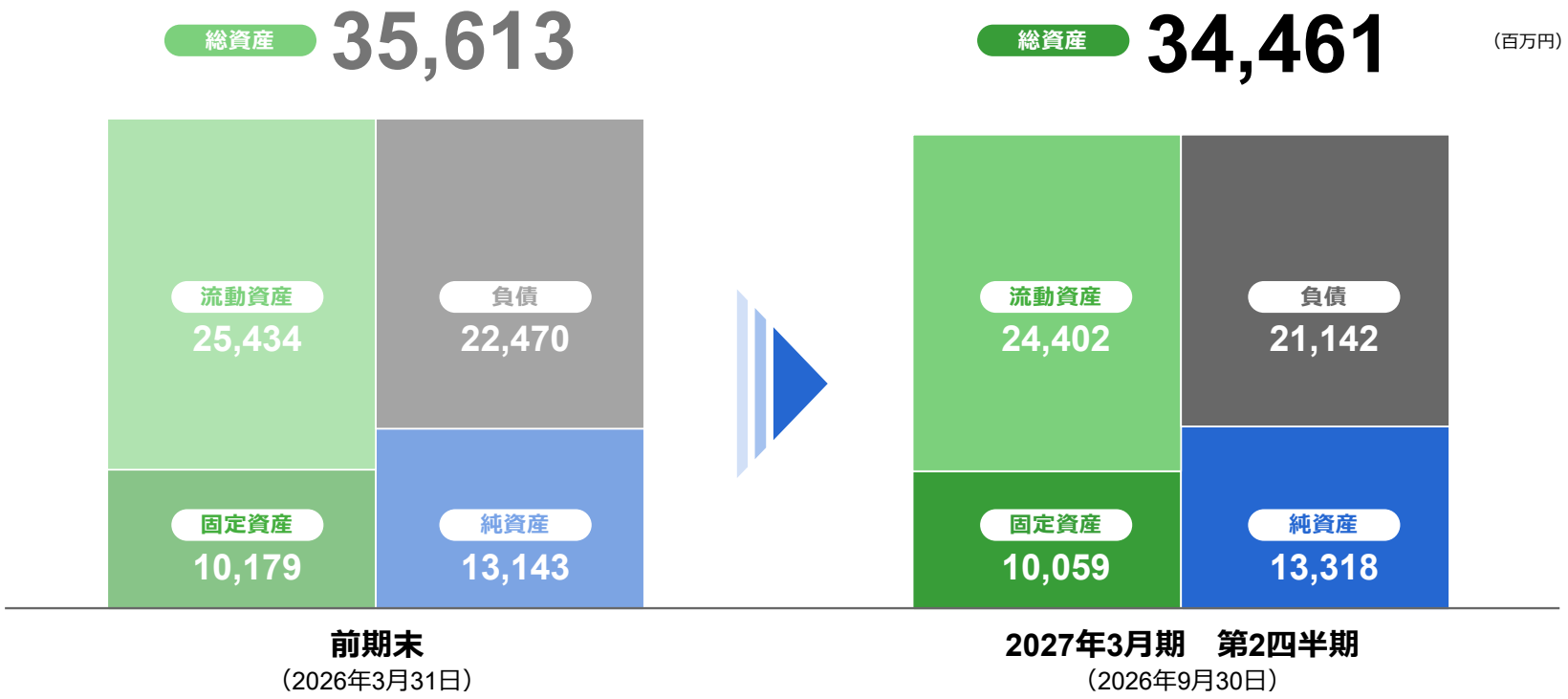
（百万円）

| 連結 | 2026/3期 第2四半期 | 2027/3期 第2四半期 | 前期比 増減額 | 前期比 増減率 | コメント |
|---|---|---|---|---|---|
| **受注高** | 5,703 | **3,640** | △2,062 | △36.2% | 主に関東地区において計画中の物件が早期に契約できたこと等により順調に推移したが、前年度からの反動減の影響により減少 |
| **売上高** | 4,864 | **5,345** | 480 | 9.9% | 関東地区において新規事業として注力しているプレキャストPC物件の発注者都合による進捗遅延の影響を受けたものの、関西地区のマンション事業が順調に推移したことにより増収 |
| **売上総利益**<br>（売上総利益率） | 490<br>(10.1%) | **849**<br>(15.9%) | 359 | 73.3% | 前期から取り組んでいる利益改善プロジェクトの各施策実行による工事採算性の改善により増益 |

© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.

# 連結貸借対照表

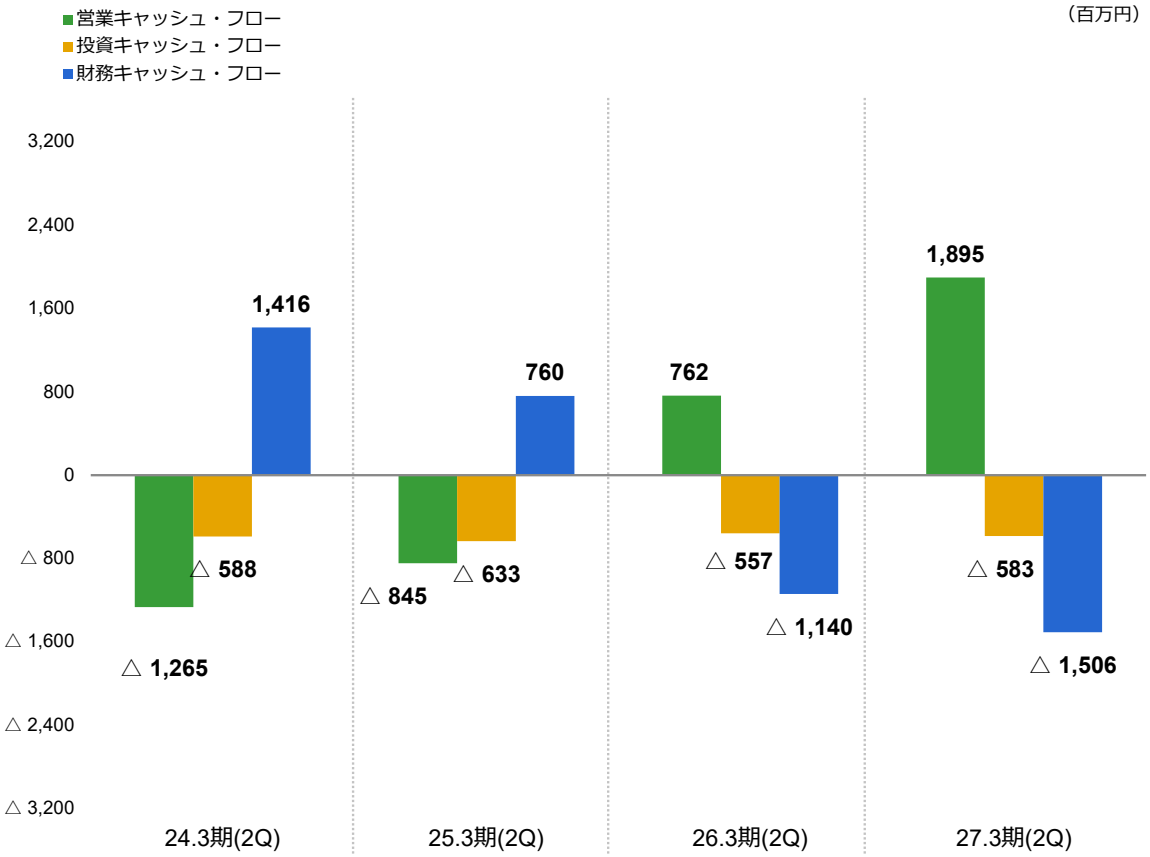
- 流動資産　：前期末に比べ1,031百万円減少。主な要因は、未収消費税等567百万円の増加、受取手形、完成工事未収入金及び契約資産1,371百万円、現金預金193百万円の減少
- 固定資産　：前期末に比べ120百万円減少。　主な要因は、有形固定資産が125百万円の減少
- 負債　　：前期末に比べ1,327百万円減少。主な要因は、預り金547百万円、長期借入金1,371百万円の増加、流動負債「その他」1,007百万円、短期借入金2,500百万円の減少
- 純資産　　：前期末に比べ175百万円増加。　主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益573百万円の計上、剰余金の配当による396百万円の減少




© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.

# 連結キャッシュ・フロー

営業キャッシュ・フローは、好調な業績と売掛債権の回収が順調に進捗したことによりプラス。
投資キャッシュ・プローは、工場リニューアルをはじめとした設備投資によりマイナス。
財務キャッシュ・フローは、借入金の返済によりマイナス。




## 2027年3月期　第2四半期

| 営業キャッシュ・フロー | 投資キャッシュ・フロー | 財務キャッシュ・フロー |
|---|---|---|
| 18.9億円 | △5.8億円 | △15.0億円 |
| 売上債権の減少<br>＋13.7億円 | 有形固定資産の取得による支出<br>△5.4億円 | 短期借入金の減少<br>△26.0億円 |

| 現金及び現金同等物の期末残高 | 17.5億円 |
|---|---|

| | 24/3期(2Q) | 25/3期(2Q) | 26/3期(2Q) | 27/3期(2Q) |
|---|---|---|---|---|
| 設備投資 | 5.3億円 | 6.0億円 | 5.0億円 | 5.4億円 |

（設備投資＝有形固定資産の取得による支出）

© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.

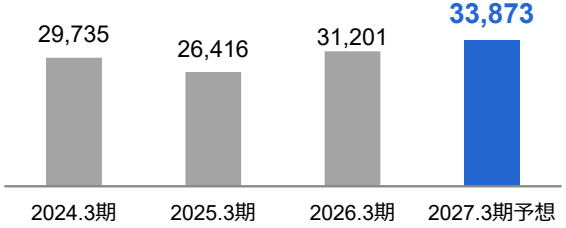
# 2027年3月期　連結業績予想の概要

潤沢な手持工事を着実に進捗させることにより増収・増益見込み

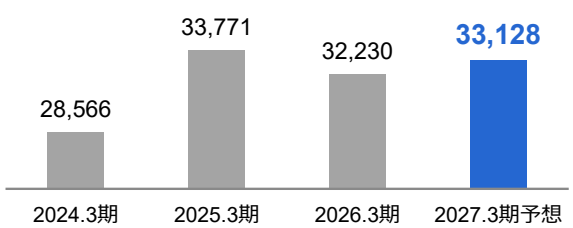
（百万円）

| 連結 | 2025/3期（実績） | 2026/3期（実績） | 2027/3期（予想） | 前期比 増減額 | 前期比 増減率 | コメント |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **受注高** | 26,416 | 31,201 | **33,873** | 2,672 | 8.6% | 手持工事を踏まえ受注確保 |
| **売上高** | 33,771 | 32,230 | **33,128** | 897 | 2.8% | 手持工事及び工場製品の順調な進捗により増収予想 |
| **売上総利益**（売上総利益率） | 4,311 (12.8%) | 5,128 (15.9%) | **5,218** (15.8%) | 89 | 1.7% | 売上高の増加、工事原価改善施策の実施等により増益予想 |
| **営業利益**（営業利益率） | 885 (2.6%) | 1,588 (4.9%) | **1,660** (5.0%) | 71 | 4.5% | 売上総利益の増加に伴う増益予想 |
| **経常利益** | 851 | 1,476 | **1,480** | 3 | 0.0% | 支払利息の増加に伴い前期並み |
| **親会社株主に帰属する当期純利益** | 2,187 | 993 | **1,010** | 16 | 1.7% | 同上 |

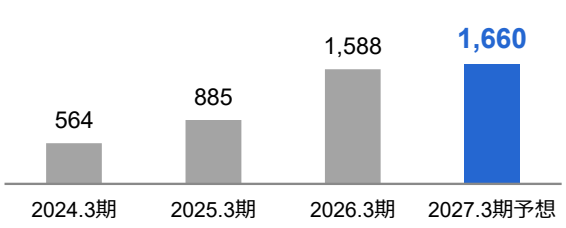
**受注高の推移**




**売上高の推移**




**営業利益の推移**




© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.

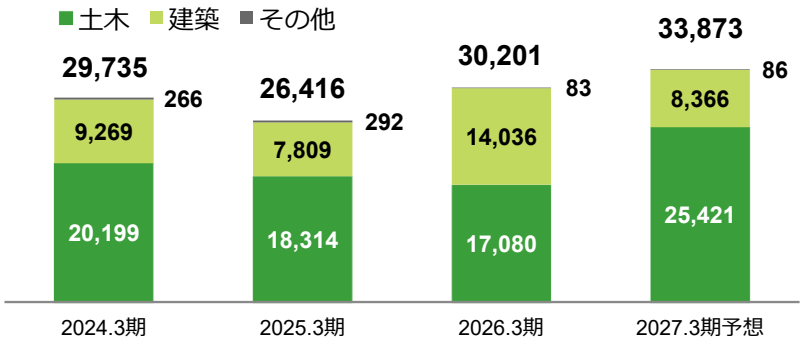
# セグメント別業績予想

（百万円）

| | 2027年3月期予想 | | | | 主な増減要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 受注高 | 前期比増減率 | 売上高 | 前期比増減率 | |
| 土木事業 | 25,421 | 48.8% | 23,009 | △0.0% | 受注高は、高速道路の老朽化に伴う維持更新事業やインフラ老朽化対策などの発注が引き続き底堅く推移するものと予想されるため増加予想<br>売上高は、手持工事及び工場製品の順調な進捗により堅調予想 |
| 建築事業 | 8,366 | △40.4% | 10,031 | 10.4% | 受注高は、前期にマンション事業の発注が順調に推移し、大幅な受注増となったことによる反動減を見込む、売上高は、潤沢な手持工事の進捗により増収予想 |
| その他 | 86 | 2.9% | 86 | △6.9% | 受注高、売上高ともに堅調に推移 |
| **合計** | **33,873** | **8.6%** | **33,128** | **2.8%** | |

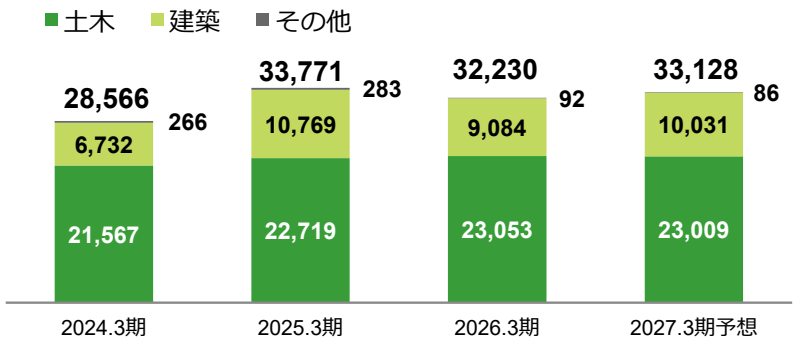
## 受注高の推移

（百万円）




## 売上高の推移

（百万円）

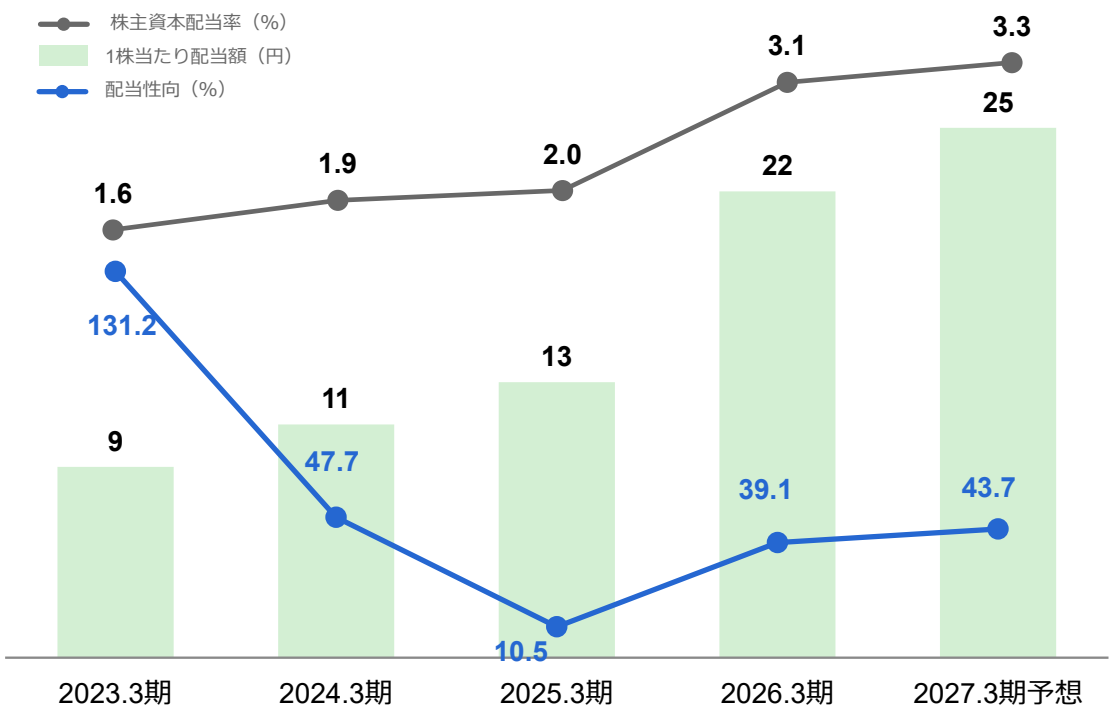



© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.

# 株主還元

**基本方針**

株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、
財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を図りながら、安定配当を実施する。




当事業年度の配当については、当事業年度の連結業績および株価向上に資する株主還元強化を勘案し、前事業年度の普通配当1株当たり22円から3円増配となる１株当たり25円を予定。

© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.

# 【参考】繰越工事高

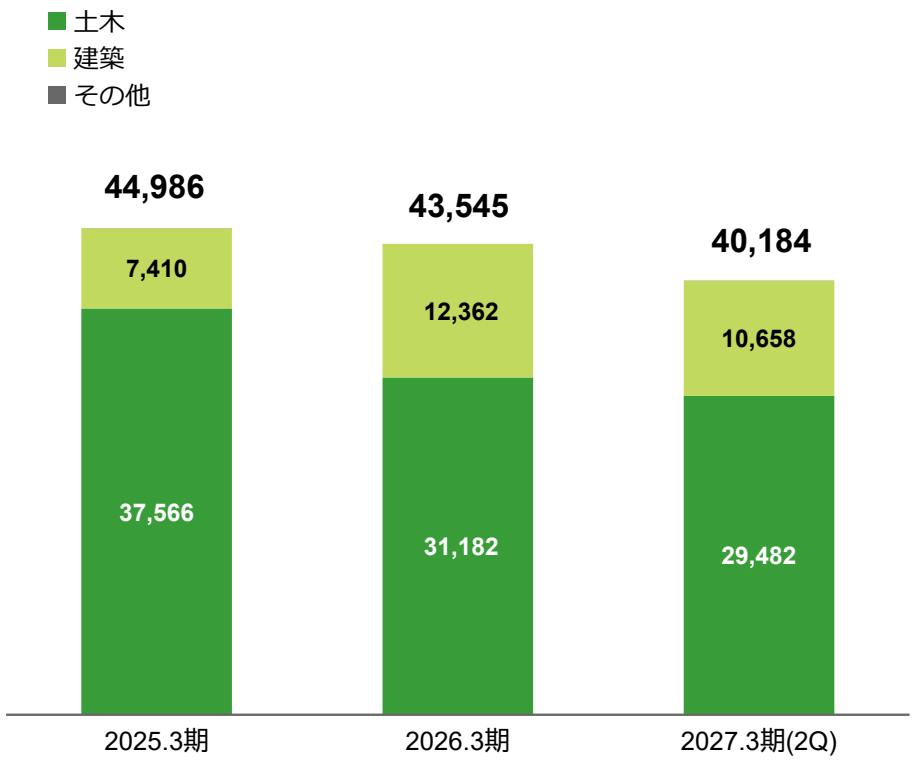
建築は前期の好調な受注の反動により減少、土木は大型の公入札工事の受注により高水準をキープ

## 当期の主な受注工事

| セグメント | 工事名称 | 発注者 | 工事概要 | 工事場所 |
|---|---|---|---|---|
| 土木 | 中央新幹線、旧利根川橋りょう | 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 | リニア中央新幹線整備に伴う、山梨工区に架かる延長509mの新設橋梁上下部工事 | 山梨県 |
| 土木 | 椎田道路　双子池第一橋他６橋（ＰＣ上部工）工事 | 西日本高速道路㈱ | 東九州自動車道（椎田道路）の４車線化に伴う、新設橋梁７橋の架設工事 | 福岡県 |
| 土木 | 県道久留米筑紫野線（北野大刀洗工区）西鉄跨線橋橋梁上部工工事（３工区） | 福岡県 | 県道久留米筑紫野線（北野大刀洗工区）の新設橋梁工事 施工橋長73m　２径間ポステンセグメントＴ桁橋 | 福岡県 |
| 建築 | JR向日町駅周辺地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物新築工事（住宅棟） | ㈱大林組 | RC造38階建新築マンション工事の内FR板製作・運搬 | 京都府 |
| 建築 | 若松町一丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事 | 戸田建設㈱ | RC造33階建新築マンション工事の内FR板製作・運搬 | 神奈川県 |
| 建築 | （仮称）大津市晴嵐計画（南敷地）　新築工事 | (株)ハセック | RC造10階建新築マンション工事の内FR板製作・運搬 | 滋賀県 |

## 繰越工事高 （個別）

（百万円）




© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.